

12/1 ハクチョウが飛来



▲水正池（上宮木町）で羽を休めるハクチョウ。

ハクチョウが、約 4,000km に渡る長旅を終え、加西市に飛来しました。加西市の豊かなため池は、ハクチョウの越冬地のひとつです。

ハクチョウが初めて飛来したのは 1980 年ごろ。当時は数羽でしたが、近頃は 30 羽以上の群れが飛来します。3 月上旬まで、三田池（豊倉町）や水正池（上宮木町）などで観察できます。

12/20 永遠の愛を誓う「ハートロック」



▲展望台までは、勤労者体育センターから徒歩で片道 20 分程度。

恋人たちがハート型の鍵をかける「ハートロック」モニュメントが、いこいの村裏山のランドマーク展望台に設置されました。

勤労者体育センター（☎④ 1420）では、『一緒に鍵をかけると永遠に結ばれる』という鍵をプレゼントしています（数に限りあり）。二人の新しい思い出のアルバムにしませんか。

タウンピックアップ

12/22 クロアチア留学生と習字で交流



▲習字の授業を受ける 5 年生とアレクサンドラさん（中央）。

九会小学校の児童が、アレクサンドラ・イグナトスキーさん（クロアチア・21 歳）と、児童朝会や習字の授業を一緒に受けるなどして交流を深めました。

アレクサンドラさんは、加西ライオンズクラブの交換留学生として、12 月 19 日から 26 日の間加西市で日本の生活を体験。九会幼稚園などにも訪れ、子どもたちと触れ合いました。

12/23 国体出場の大学ソフトボール部から学ぶ



▲大学生からピッチングの指導を受ける中学生。

市内外の中高生ら 55 人が、アラジンスタジアムで環太平洋大学（岡山市）女子ソフトボール部の選手から、練習方法や技術を学びました。同部には、加西市出身の松末紗来選手が所属しています。

投球練習を教わった柳亜希さん（北条中 2 年）は、「体のぶれを指摘され、意識して投げるとコントロールが良くなり、勉強になった」と話しました。

加西市のことなら

ホームページがより見やすくなりました。スマートフォンにも対応

加西市ホームページ

加西市

検索

テレビで緊急情報「まちナビ」



サンテレビのデータ放送で緊急情報などを発信

災害に備えて「かさい防災ネット」



災害時に避難勧告などの防災情報をメールで自動配信



1/1 新春のつどい



▲午前7時過ぎに雲間から昇る初日の出。

加西市青少年団体連絡協議会が主催する「新春のつどい」が開催され、約400人がいこいの村裏山のランドマーク展望台に登り、初日の出を拝みました。

下山後、鈴木こころさん(日吉小5年)が「(加西市)いると心が『和やか』になるような町にしたい」と願いを込めた2015年の漢字「和」を、同協議会の水田好洋会長が縦・横約120cmの紙に書き初めをしました。

1/5 飛躍の年に「平成27年新年交歓会」



▲加西商工会議所の千石唯司会頭の音頭で乾杯。

加西市・加西市議会・加西商工会議所共催の「新年交歓会」が、健康福祉会館で開催されました。

市内の各種団体の長や企業の経営者のほか、議員や来賓など約230人が参加し、新年の門出を祝うとともに、抱負や将来を語り合う中で交流を深めました。

また、そば打ち愛好家グループ「そばっ呼手打ち会」が温かいそばを提供しました。

まちの出来事

1/8 迫力の舞を披露



▲柱にたいまつを打ち当て、本堂の周囲を暴れ回る赤鬼。

五穀豊穡や無病息災を祈る国重要無形民俗文化財「田遊び・鬼会」が、上万願寺町の東光寺で行われました。

田遊びでは、黒い面と烏帽子姿の福太郎・福次郎が、豊作を祈り農作業のしぐさを奉納。鬼会では、子どもたちが「鬼こそ鬼よ」とはやし立てる中、赤鬼がたいまつを柱に打ち当て、青鬼が矛を突き出して暴れ回り災厄を払いました。

1/11 目標を実現できる大人に



▲頃安さんが誓いの言葉を述べました。

加西市成人式が市民会館で開催され、385人が参加。新成人を代表して、頃安美里さん(北条町横尾)が「阪神淡路大震災から得られた経験や教訓を引き継ぎ、夢や目標を実現できる力を持った大人になり、希望の灯となります」と力強く誓いました。

その後、恩師からのビデオレターや、久しぶりに会う友人たちと旧交を温めました。

子育て、定住支援情報



子育て・定住
支援情報サイト



ふるさと加西は風土記1300年



事業の取り組
み等を紹介



かさい子育て NAVI

子育てイベントや子育て
での悩みを解決



かさい観光NAVI

遊ぶ・見る・食べるな
どの観光情報が満載

